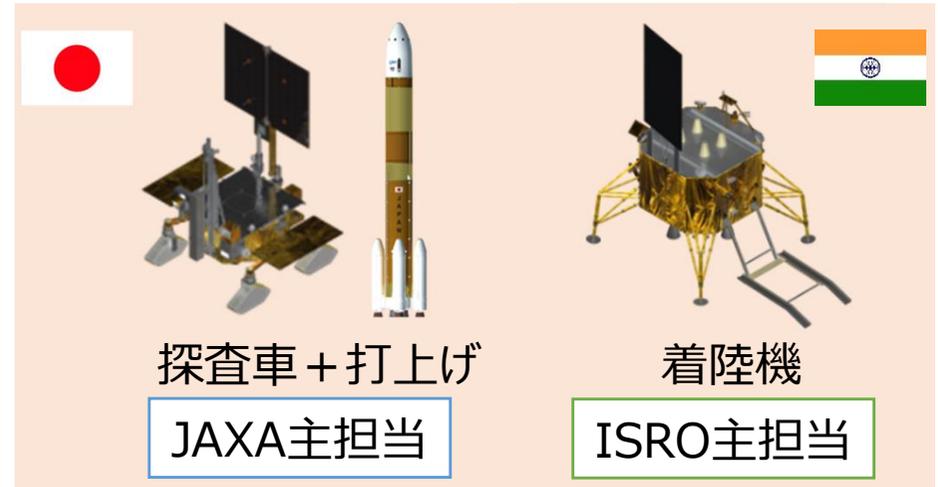


プロジェクト概要

- 月には水資源があると考えられており、今後の宇宙探査活動のエネルギー源として注目されている。
- 月の水資源の量や状態を把握するため、月の南極域（水資源が存在する可能性のある領域）を探査するプロジェクトをインド等との国際協力で実施する。

日印間の役割分担

- 日本側の実施機関である宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、①月面上を走る探査車の開発と運用、②土壌サンプルから水の量・状態を分析する観測機器等の開発と運用、③H3ロケットによる打上げを担当
- インド側の実施機関であるインド宇宙研究機関（ISRO）は、①月面への着陸機の開発と運用、②地中の水分分布を計測する観測機器等の開発と運用を担当



これまでの経緯と今後の予定

- 2017年12月 日印の宇宙機関（JAXA・ISRO）で検討開始
- 2022年7月 文部科学省でプロジェクト承認
- 2024年10月 インド国家宇宙委員会でプロジェクト承認
- 2025年8月末 JAXAとISRO間で実施取決め署名に向けて調整中**
- 2026年度～ 種子島宇宙センターより打ち上げ予定
(※今後のプロジェクトの進捗状況等により遅延の可能性もある。)

